

# 奈良県野迫川村における モデル事業(市町村管理構想)の取組概要

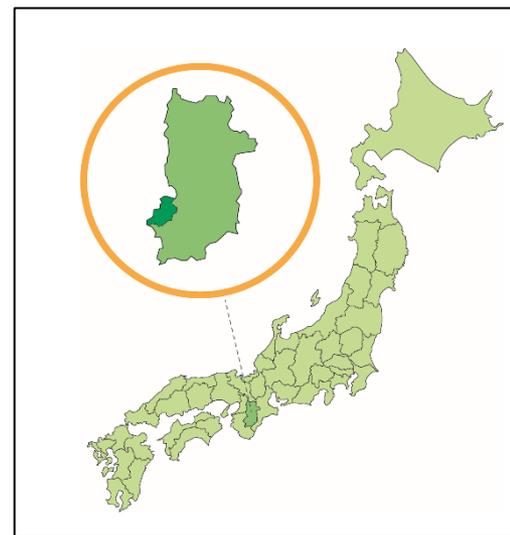
---

- R5年度より、奈良県野迫川村のモデル事業の取組を開始。R6年度中に村管理構想の策定を目指している。
- 村内には多数の空き家や放置人工林などが発生しており、地域の魅力を阻害する要因にもなっている。  
村管理構想を活用して、管理状況の把握や人口減少を見据えた土地建物の管理方法を見直し、村の目指すべき将来像、特に移住定住に向けた空き家対策にかかる基礎資料とする。

## ■対象地域：奈良県野迫川村

### ■村の概要：

- ・人口等：人口 357人、204世帯、高齢化率50.4%、年少人口率3.4%  
(R2年国勢調査)
- ・面積：154.90km<sup>2</sup> (R5年4月1日全国都道府県市区町村別面積調)
- ・地形：奈良県の西南部、和歌山県との県境に位置し、東は五條市、南は十津川村及び田辺市、西から北は有田川町及びかつらぎ町、高野町と接している。紀伊山脈の北斜面にあり、山々に囲まれ、極めて急峻で標高が高く、総面積の約97%が山林となっている。



### ■検討体制：総務課が事務局を務め、関係課と連携を図りつつ、検討を進める。

【主な所管課】 総務課（宅地・空家）、産業課（農地、森林）、建設課（道路・上下水道）等

【モデル事業の取組の経過】（※各ステップについては公表している「策定の手引き」の第2章をご確認ください。）

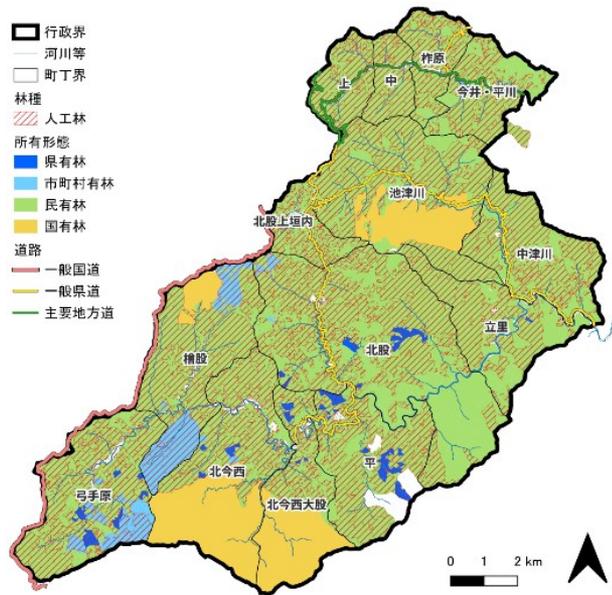
- ・R5.9月～ ●基礎情報からの現状把握及び将来予測 <ステップa>  
(上位計画及び関連計画の整理、村の現況整理)
- ・R5.11月 ●庁内ワークショップ <ステップb-2>
- ・R5.12月～ ●課題の整理 <ステップb-1>  
(目指す将来像、対応すべき課題、管理のあり方)
- ・R6.4月～ ●村管理構想の検討 <ステップc>  
(村土に関する基本構想、必要な措置に関する事項、管理構想図)

○村土の管理のあり方検討に必要な基礎情報の収集を行うとともに、村職員を対象としたワークショップを行い、森林や農地、集落地について将来に向けて「残したいところ」や「心配なところ」について話し合い、課題図を作成した。

## ■野迫川村管理構想の策定ステップと取組概要

ステップa：村土に関する基礎情報からの現状把握及び将来予測

### 森林の状況



### 災害リスクエリア



ステップb-1：対応すべき課題と管理すべきエリアの整理

○将来のあるべき姿に向けて、対応すべき課題とそのエリアを検討

ステップc：村管理構想及び村管理構想図の検討

ステップb-2  
：庁内意見交換

- ・土地や建物の管理状況、課題認識や将来目指したい姿について意見交換
- ＜参加者＞
- 村：8名
- 奈良県：3名
- 国土交通省：2名
- コンサルタント：4名



